

## XII 酪農家のロープワーク

### 1 もくしのつくり方

#### (1) 頭絡（2本よりもくし）のつくり方

##### 【材料】

- ・ロープ（3本撚り・9mm径）長さ8m
- ・よりもどし 1ヶ（あればよい）



写真1 もくし完成写真

##### 【つくり方①】

ロープを半分に折り、右図の場所に「三つ編み」をつくる。

- ・Aは16cm、Bは32cmの長さにする
- ・この部分は右顎部になる

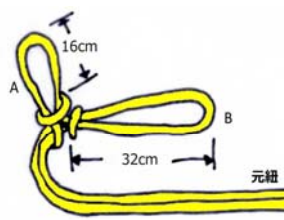
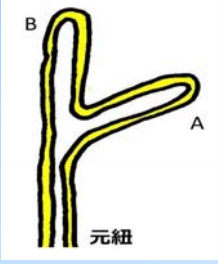
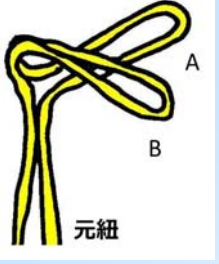
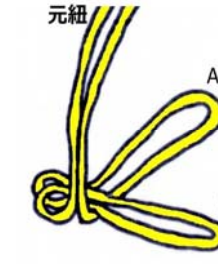







図1 三つ編み完成図 写真2 三つ編み表 写真3 三つ編み裏

##### 【三つ編みのつくり方】

			
①巻き結びをつくる輪Aの下に、結ぶ輪Bを重ねる	②BをAの手前に曲げる	③さらに元紐をその上方に曲げる	④Aをさらに元紐の上に曲げてBの基部に差し込んでひっぱり完成
			

##### 【つくり方②】

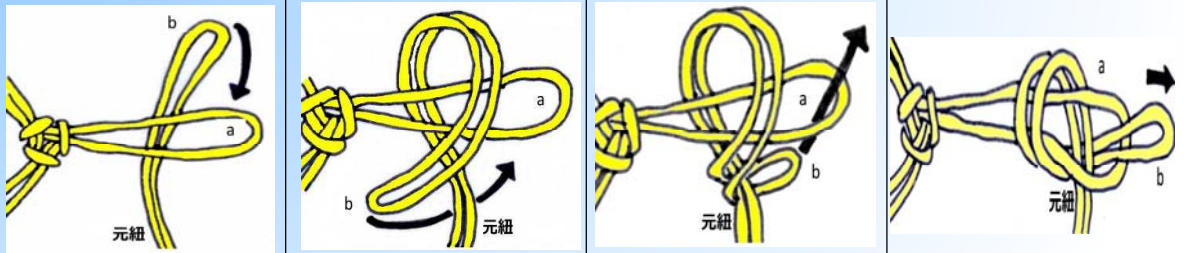
A基部より32cmで元紐をBに「巻き結び」をする

- ・「よりもどし」を入れる場合は、32cmの部分に通す
- ・鼻紐・左顎部が完成



図2 鼻紐・左顎部が完成

【巻き結びのつくり方】



①巻き結びをつくる輪 a の下に、結ぶ輪 b を重ねる

②③bを下方に倒し③のようにaに通す

④bをぎゅっとひっぱり、巻き結びの完成



【つくり方③】

B片の「巻き結び」から17cmのところ「三つ編み」を作る（前述の「三つ編み」の作り方参照）

- C片の長さは20cmとする
- 左頬部が完成

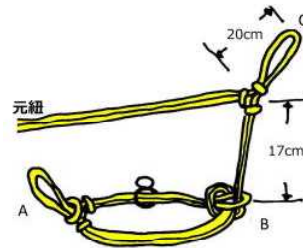
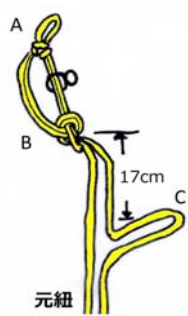


図3 左頬部が完成

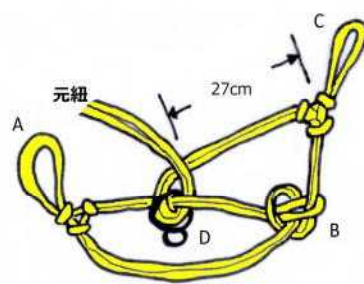
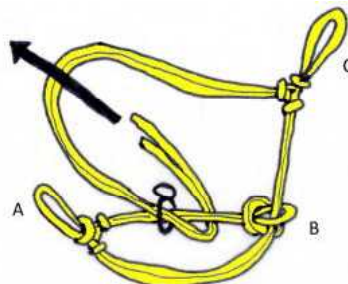
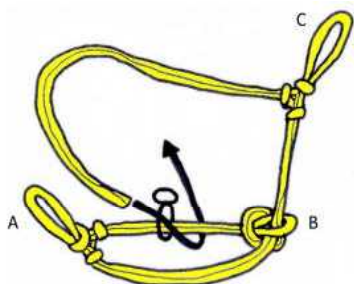
【つくり方④】

元紐の端をB片の中央で交叉するように巻き付ける。「よりもどし」を入れる場合は、D部で下図の手順で通す

- ロープの長さはC基部より27cmのところまで巻き付ける
- 顎部が完成。



写真4 顎部が完成



### 【つくり方⑤】

D部で巻かれたロープは、更に27cmのEでA片に「巻き結び」をする

- 右頬部が完成

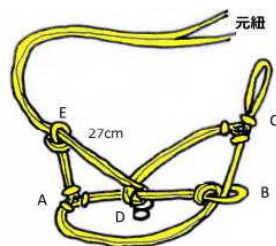


図4 右頬部が完成

### 【使用時の図】

家畜につけるときに、大きな調節はF部で行う

#### ※注意

輪を作らずに作成した場合ロープの先端は、バック・スプライスでほぐれ止めの処理をする

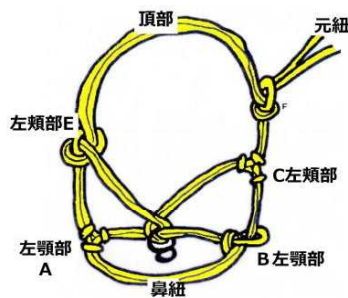


図5 完成図



## (2)簡易もくしのつくり方

子牛の移動時などに使う簡易頭絡のつくり方

### 【材料】

- ロープ（3本撚り・9mm径）長さ4.5m



写真5 簡易もくし完成写真

### 【つくり方①】

はじめに三つ編みをつくる

（三つ編みの作り方は次のページ）

三つ編みの完成時に裏返しにして右の写真のようにきれいな三角になっていれば正解

- この三角の部分が牛の頬に当たる
- 三つ編みが完成



写真6 三つ編み完成



【三つ編みのつくり方】

			
①写真の大きい輪が30cm、右の小さい輪が15cm、左の輪の下からロープ先端まで10cmになるように持つ	②左側の大きい輪を持ち	③右側の小さい輪と下側のロープの間に折る	④下側のロープを持って
			
⑤上に折る	⑥右側の小さい輪を持ち	⑦親指に出来ている輪に指先側から通す	⑧ロープを通したら3本のロープを均等に少しずつ引っ張り形を整える

簡易もくしのつくり方 (つづき)

			
①三つ編みの表（写真6の反対側）が見えるようにして、大きい輪が右、小さい輪が左下に来るように持つ（大きい輪が牛の鼻上部にくる）。牛の頭にかかる部分を作る（巻き結び）。長いロープを牛の頭にかける大きさをイメージして、写真の様に、大きい輪の上に置く	②長いロープを大きい輪の後ろに通す	③長いロープを大きい輪の先端にできている輪に通す	④牛の頭の大きさをイメージして、大きさを決め、通したロープを引っ張り締める。 （これで巻き結びができる）
			

簡易もくしつくり方：つづき

⑤小さい輪にロープを通し



⑥でき上がり

上の輪に牛の頭が入り、下の輪に牛の鼻面が入る



2 結び方

(1)カン結び (柱や杭に<sup>けいりゆう</sup>繫留する)

柱への繫留

作業の方法



①ロープを柱の前で添える



②右手のロープを柱に巻き付け左手のロープの下を通す (右手のロープが左手のロープの下にくる)



③ロープ両側を引っ張る



④右手のロープをもう一度柱に巻き付ける



⑤右手のロープの上をまたいで柱にできている下の輪に、



上から下に向かって通す



⑥ロープを左右に引っ張りむすび目を締めて完成



⑦完成写真 (裏側)

牛を杭や柱に繫留するときや子牛の移動時によく用いられるカン結びの方法です。

杭への繫留 ①




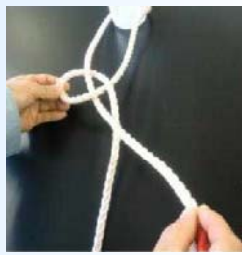




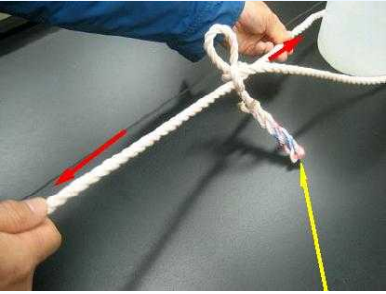
作業工程	作業の方法		
			
1 輪をつくる	①左手でロープの先端から1.5mくらいのところを持ち左手から40~50cm右側のところを右手で持つ ②右手ロープを右回りにひねりながら輪をつくる		
			
2 先につくった輪の右側に同様の輪をつくる	①右手をずらして ②右のロープをねじって ③2個の輪をつくる		
			
3 右の輪を左の輪に重ねる	①右の輪を左の輪を重ねる ②輪を重ねる		
			
4 完成	①杭の上から重ねた輪を通す ②両端を左右に引っ張る ③完成		

注) このままの状態では弛みませんが、左側のロープ（牛側）が引っ張られているときはきつく縛られた状態になります。

注) 牛の一時的な保定にはいいが、長く保定する場合はもう一度結ぶことが必要になります。



(2)もやい結び（牛の繋留等によく使う結び方）

もやい結びの方法		作業の方法	
			
①ロープを結びたい場所にかける	②長いロープ側に小さな輪をつくる（ポイント：巻き終わりが上になる）	③短いロープの輪の下から上に通す	④通した短いロープを長いロープの上をまたぎ右側に交差させる
			
⑤小さい輪を左手に持ち、短いロープを二つに折り右手に持つ	⑥折ったロープを輪の下から入れる	⑦半分通して、	⑧輪の左側のロープと長いロープを持って
		⑨完成 グイッと引っ張る。通した輪が抜けないように持ちながら、赤い矢印の方向に引っ張り、むすび目をきつくする。黄色い矢印で指したロープを引っ張ると簡単にほどける	

・ロープワークの詳細は下記のアドレスに掲載されていますので参考にして下さい。

[http://www.nemuro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/gijutsu/mokusi\\_index.htm](http://www.nemuro.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/gijutsu/mokusi_index.htm)